

2日目（10月16日）午後 テーマ「移住・定住」

事業番号 事業名	⑦-1 定住支援体制の整備			
判定区分	(1) 不要・凍結	(2) 国・県・広域	(3) 三原市 (要改善)	(4) 三原市 (現行通り・拡充)
評価者	1	0	1	2
市民判定者	3	0	12	0
主な意見等	<ul style="list-style-type: none"> ・事業内容は、東京や大阪での移住定住フェアの開催。県下の協議会に加盟し、協議会主催のフェアに参加。 ・単独で行うよりもコストが抑えられる反面、県内の多くの自治体と一緒に参加するため目立つことができない（三原市よりも知名度の高い自治体が多い） ・そもそも移住や定住の言葉の定義があいまい。 ・転出を抑制する取組みが必要。今住んでいる市民自身が、三原市が魅力ある街と感じれる街づくりが必要。 など。			

事業番号 事業名	⑦-2 空き家活用検討事業			
判定区分	(1) 不要・凍結	(2) 国・県・広域	(3) 三原市 (要改善)	(4) 三原市 (現行通り・拡充)
評価者	2	0	1	1
市民判定者	2	2	8	3
主な意見等	<ul style="list-style-type: none"> ・事業内容は、空き家バンクへの登録や移住希望者へのあっせんなど。 ・バンクへの登録が少ないが、登録が増えれば良いわけでもなく、魅力ある家を見つけることが重要。 ・この事業だけというよりは、市として移住者獲得にどのくらいの優先度で行うのか、全体の戦略の中での位置づけが必要。 など。			

事業番号 事業名	⑧ 婚活プロジェクト実行委員会補助			
判定区分	(1) 不要・凍結	(2) 国・県・広域	(3) 三原市 (要改善)	(4) 三原市 (現行通り・拡充)
評価者	2	0	2	0
市民判定者	6	1	4	4
主な意見等	<ul style="list-style-type: none"> ・事業内容は、婚活パーティを行う実行委員会への補助事業。 ・目的は人口減少の抑制だが、婚活パーティの開催⇒カップル成立⇒結婚⇒三原への定住⇒出産、と目的達成のためには多くの段階を経る必要があり、ごく初動の入り口部分なので、成果の捉え方を見直すべき。 ・実行委員会といっても事務局機能は市が担っているため実質の直接実施、最終的には民間団体が自主的にするように働きかけていくべき。 など。			